

すわみつえ通信

No.320 2024年6月24日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

川里地域小中一貫教育校整備について

鴻巣市教育委員会は「川里地域小中一貫教育校の整備に関する基本構想・基本計画(以下、基本構想・基本計画という。)」を、2024年3月に策定し公表しました。

この「基本構想・基本計画」の「はじめに」の中で、小中学校を統廃合するかしないかの基準は2つであるとしました。

●1つ目は「全ての学年が単学級になった状態もしくは予想される状態であって、集団教育活動に制約が生じる場合」と断言。

●2つ目は「小中一貫教育の推進と地域の実情を踏まえ、より大きな教育効果が期待される場合」と一方的に述べています。

この考えのもと策定した「基本構想・基本計画」について、果たして鴻巣市が進むべき教育の方向なのか、質問いたしました。



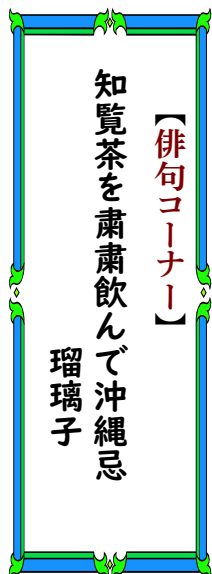
「基本構想・基本計画」は建物の説明ばかり

全編62ページで編集された「基本構想・基本計画」は学校建設の工事と建物の説明が58ページ。「教育内容はわずか4ページ。これでは小中一貫教育への理解は得られないと思います。

統廃合に反対の意見をどうする

地域の中には建設工事費102億円と計画されている小中一貫校を知らない方や、統廃合に反対の方も多くいらっしゃいます。未就学児の保護者の方などは「説明会や意見交換会をオンラインでしてもらえたら、参加し易い。自分事としてとらえたい」と意見が出ています。丁寧な説明が求められています。引き続き、皆さんの声を届けます。

旧笠原小学校跡地の利活用はいつから



知覧茶を肅肅飲んで沖縄忌

【俳句コーナー】

瑠璃子

多くの地域住民が笠原小学校閉校に納得していなかった跡地利活用の事業者が決定しました。地域住民の声がどのように活かされた事業が行われるのか、また、事業開始はいつからかを質問しました。

各法令に基づく許認可等の手続きや施設改修に時間を要するため、事業開始の時期は未定と答弁がありました。閉校してから2年も経過しています。地域の活性化がさらに遅れるのでしょうか。

コミュニティバス・フラワー号の土曜日減便を元に戻してほしい



コミュニティバス・フラワー号は本年4月1日から、平日運行と同じであった土曜日運行を日曜日運行並みに減便しました。土曜日登校もある高校生や土曜日仕事の方が通学通勤に大変支障が出ています。

市は減便の理由として、運転士不足に加え、2024年4月1日から時間外労働の規制が行われるため、運行ダイヤの維持が難しいと答弁しました。現在の運行ダイヤは5年間も続きます。

期間限定で朝夕の臨時便を運行し、利用客のない時間帯で運転士の休息を保障するなど、代替案を求めましたが、考えはないとの答弁です。交通・移動の権利が保障され、活用できる環境が整えられることが必要です。引き続き、取り組んでまいります。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

東京都知事選告示 自民党政治終わらせたい 蓮舫都知事候補が決意 現職小池氏との対比鮮明 弱者に寄り添う蓮舫候補を



蓮舫氏

東京都知事選(7月7日投開票)が6月20日、告示され、56人が立候補しました。幅広い市民と野党など「オール東京」の前参院議員・蓮舫氏(56)と、裏金自民党に「二人三脚」で頼り頼られる現職の小池百合子氏(71)との事実上の一騎打ちです。日本共産党、立憲民主党、社民党、生活者ネット、緑の党、新社会党などが蓮舫氏を支援。自民党、公明党、都民ファーストの会、国民民主党が小池氏を支援します。

蓮舫氏は「東京は一見、華やかに見えるが、ものすごい速度で格差、暮らしにくさが広がっている。家賃も光熱水費も食料費も交通費も高く、物価高だ」と指摘。「『暮らしより裏金』の劣化した政治を、東京のリーダーとなって変えたい。若い人の暮らしの不安を取り除き、本物の行政改革を担わせてほしい」と訴えました。公契約条例をつくり、税金で発注する相手企業に労働

者の待遇を改善させ、賃上げを進めること、教育・保育・医療・介護など公共サービス労働者の待遇改善を進めること、学校給食の無償化、神宮外苑再開発の見直しなどを公約しました。

蓮舫候補は6月20日、新宿区での街頭演説の終了後に囲み取材に応じました。蓮舫氏は、街頭演説での新宿駅東南口広場を埋め尽くす聴衆について、「すごく熱気があって、声をかけていただく方がすごく多くて、こんなにうれしい街頭演説は私にとっては特別なものだ。高校生や若い女性が立ち止まってくれるのはすごくうれしい」と感慨深く語りました。

また、国会での改定政治資金規正法の成立や内閣不信任案の否決について、「まったく改革にもなっていない法案を与党だけで通した。自民党の人たちがどういう思いで岸田内閣を信任したのかわからない」と述べ、「自民党政治はいったん終わらせなければならない。自民党が応援している人には絶対に勝ちたい」と決意を語りました。(しんぶん赤旗 6月21日付)

改定政治資金規正法 またまた新しい抜け穴つくった 自民・公明

6月21日に閉会した通常国会は、自民党の裏金に揺れた国会でした。裏金の原資は、政治資金パーティーで、その大半は企業が購入したものです。そして、大企業をおもんばかり、政治が歪められてきたのです。ところが、自民・公明が通した改定政治資金規正法は、肝心のパーティー券購入も含む企業・団体献金禁止がすっぽり抜け落ちたものとなりました。

さらには、政策活動費を、新たに法文に書き込み、お墨付きを与えました。しかも、領収書の公開は10年後。つまり、10年間使途を明かさずに使えるようにしたのです。またまた、新たな抜け穴が作られました。

私・伊藤岳は、この腐りきった政治を正したい。来る解散・総選挙で、必ず勝利したい。「企業・団体献金を一円たりとも受け取らない日本共産党の出番だ」と決意を新たにしているところです。

今政治がやるべきは、30年間も上がっていない賃金を上げるために、手立てを講ずることです。わが党は、10年間で180兆円増えて、510兆円にまで膨れ上がった大企業の内部留保にメスを入れ、賃上げを進めます。(日本共産党 参議院議員 伊藤岳 6月21日)



国政報告する日本共産党・参議院議員
伊藤岳=6月22日、ふじみ野市